

平成29年度 第4回大東市産業振興市民会議（報告）

1. 日時・場所 平成30年3月29日（水）午後3時30分～5時30分
大東市役所 東別館2階会議室

2. 出欠

【出席】

会長	（株）山田製作所 代表取締役社長	山田 茂
副会長	NPO法人住まいみまもりたい 理事長	吉村 悦子
委員	大阪産業大学 教育研究推進センター長・デザイン工学部教授	濱崎 竜英
	大阪経済大学経営学部准教授	遠原 智文
	明星シンセティック（株） 代表取締役社長	上田 隆章
	新大阪食品産業（株） 代表取締役	北尻 正太
	大東商工会議所 常議員	伊泊 規子
	NPO法人大東夢づくりコミュニティ 代表理事	中村 朋子

市 政策推進部長 北本 賢一
事務局 産業振興課 森田次長・坂本上席主査・林

【欠席】

委員	大東市商業連合会 会長	角谷 昌寛
	小金屋食品株式会社 代表取締役	吉田 恵美子
	近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室長	田口 一江

3. 議案

(1) 市長提言報告

平成29年12月25日に山田会長から市長提言を行った。

(2) 本年度事業報告

資料を基に事務局から報告。質問や意見等は次のとおり。

- ・多様な人材活用ワークショップでは、マニュアル作成時にパソコンではなくスマホやタブレットの写真加工アプリで作成しているということを聞き、大変参考になった。
- ・D-Biz が出展を支援した大東市金属加工連携グループのビジネスマッチングフェアの反響はどうか？
→反響は大きかった。今年度も出展する予定だが、グループで出展すると負担も少なく参加しやすいと感じた。
- ・大東市未来人材奨学金返還支援補助金は、学生に周知するためにはキャリアアセンターだけでなく、学生生活課にも情報提供したほうが良い。

・大東まちゼミの反響はどうか？

→51店舗（59講座）に約590人の受講者が集まり盛況だった。

新規客の開拓だけでなく、受講者がそのお店のパートになるなど雇用にもつながった事例もあった。

人材不足に悩むものづくり系の企業も参加するメリットはあったと感じた。

・D-Bizについては、その役割の一つである創業支援にも引き続き力を入れていってもらいたい。

若い経営者も一人で悩んでいるかもしれないので、D-Bizのコミュニティを利用できればよいと思う。

（3）次年度事業案について

前年度と比較して予算額は減少したように見えるが、その理由は地域就労支援事業の予算の所管替えによるもの。しかし、今年度は7年ぶりの赤字ということもあり、削減すべき部分は削減した。

新規事業としては、だいたい産業活性化協議会によるものづくり教育道場を実施予定。

初回は市内企業の従業員を対象に3D-CADの講座を行う予定。

委員からの意見等は次のとおり。

- ・講座内容や対象者は企業側のニーズに合致したものにする必要がある。
- ・まずは初級講座から始めるのがよい。

（4）その他

- ・工業だけでなく、商業にも目を向けた施策を展開してほしい。
- ・市民サービスを提供する企業を探すデータベースなどがあればよい。
- ・社員の表彰制度を作れないか。ものづくり系だけでなく、パティシエや販売員など幅広い職種の表彰制度がよい。実際に表彰された社員のモチベーションは大きく上がると思う。